



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月30日

上場会社名 リオン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6823 URL <https://www.rion.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水健一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画本部長 (氏名) 加藤公規 (TEL) 042-359-7099  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	9,328	△11.1	845	△39.6	876	△39.0	721	△27.8
2020年3月期第2四半期	10,489	5.9	1,399	32.4	1,437	29.3	999	25.8

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 862百万円(△23.0%) 2020年3月期第2四半期 1,120百万円(40.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	58.72	—
2020年3月期第2四半期	81.38	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	29,675	22,830	76.9
2020年3月期	29,850	22,232	74.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 22,830百万円 2020年3月期 22,232百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	20.00	—	23.00	43.00
2021年3月期	—	22.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	21.00	43.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	△2.2	1,800	△27.6	1,900	△26.3	1,500	△15.7	122.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期2Q	12,303,400株	2020年3月期	12,294,400株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	17,293株	2020年3月期	17,293株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期2Q	12,280,107株	2020年3月期2Q	12,277,166株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

# 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により経済環境が悪化するなど、極めて厳しい状況となりました。

このような中、当社グループの業績につきましては、微粒子計測器事業の販売が好調に推移したものの、医療機器事業及び環境機器事業の販売が前年同期と比べて減収となり、全体では減収減益となりました。なお、東京都の新宿駅周辺における土地再開発に伴い、賃借中の当社直営の補聴器販売店を移転したことにより受領した補償金を特別利益に計上しております。

### (医療機器事業)

個人消費者を顧客とする補聴器は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための外出自粛により4月から5月にかけて来店者数の減少とともに販売が大きく落ち込みましたが、6月以降は来店者数、販売ともに回復傾向がみられ前年同月に近い水準で推移しております。一方で、耳鼻科をはじめとする病院等を主な顧客とする医用検査機器においては感染症対策のため営業訪問に制約のある医療機関が多かったことなどから販売は低調に推移しました。その結果、医療機器事業は前年同期と比べて減収減益となりました。

### (環境機器事業)

景気後退に伴い顧客企業における設備投資の縮小や延期が続いていることに加え、取引先に対する営業訪問の制約も影響し、騒音計や振動計の販売が伸び悩んだ結果、前年同期と比べて減収減益となりました。

### (微粒子計測器事業)

活発な設備投資が継続している半導体関連市場において、テレワークやオンライン授業等の増加による需要の拡大が加わり、半導体製造工場で使用される液中微粒子計の販売が好調に推移したことから、上期の売上高は過去最高を更新し、前年同期と比べて増収増益となりました。

当第2四半期累計期間の業績を前年同期と比較しますと、次のとおりとなります。

(金額単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	増減	増減率 (%)
売上高	10,489	9,328	△1,160	△11.1
医療機器事業	6,483	5,147	△1,336	△20.6
環境機器事業	1,977	1,699	△278	△14.1
微粒子計測器事業	2,027	2,481	453	22.4
営業利益	1,399	845	△554	△39.6
医療機器事業	841	57	△783	△93.2
環境機器事業	126	60	△66	△52.3
微粒子計測器事業	432	727	295	68.4
経常利益	1,437	876	△560	△39.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	999	721	△277	△27.8

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

5月22日に開示した「業績予想の修正に関するお知らせ」では、業績予想における事業環境の前提として、秋以降において補聴器販売店への来店者数の回復と、医療機関や企業への営業活動が復旧している状況を想定しておりましたが、来店者数は順調に戻ってきているものの、医療機関や企業への営業活動はやや遅れて年度末に向け徐々に回復していくものと予想しております。

補聴器は、新型コロナウイルスの影響により減少していた補聴器販売店への来店者数が6月以降に持ち直してきていることに加え、本年7月に発売した中価格帯の新製品の拡販に注力していくことで年度末に向けて売上高の回復を見込んでおります。医用検査機器においては医療機関の設備投資動向が不透明な状況ではあるものの今後に向けて営業訪問の制限が解除されていく見込みであり、また、環境機器においては年度末にかけて執行される予算案件を着実に捕捉することで、これらの販売は回復に向かうものと予想しております。微粒子計測器につきましては、半導体関連業界においてテレワーク等の需要に加えて第5世代移動通信システム(5G)の本格的な普及に向けた投資がさらに活性化すると予想され、液中微粒子計の販売が引き続き好調に推移するものと見込んでおります。

以上のことから、医用検査機器及び環境機器の回復がやや遅れているものの、微粒子計測器が引き続き好調に推移していることから、今後の業績の見通しにつきましては、5月22日に開示した予想数値を変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,074,729	6,185,104
受取手形及び売掛金	6,229,057	5,270,846
たな卸資産	5,145,281	5,613,662
その他	315,148	370,749
貸倒引当金	△9,023	△9,615
流動資産合計	17,755,193	17,430,745
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,999,516	2,044,783
土地	5,967,194	5,967,194
その他(純額)	1,272,237	1,338,613
有形固定資産合計	9,238,947	9,350,590
無形固定資産		
投資その他の資産	564,529	603,051
その他	2,299,867	2,298,506
貸倒引当金	△7,600	△7,000
投資その他の資産合計	2,292,267	2,291,506
固定資産合計	12,095,744	12,245,149
資産合計	29,850,937	29,675,894
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,749,486	1,724,281
未払法人税等	409,963	243,961
未払費用	289,263	273,463
賞与引当金	1,014,051	772,880
製品保証引当金	178,046	173,042
返品調整引当金	42,600	48,136
その他	335,041	165,580
流動負債合計	4,018,452	3,401,347
固定負債		
退職給付に係る負債	1,885,325	1,724,213
その他	1,714,924	1,719,428
固定負債合計	3,600,250	3,443,642
負債合計	7,618,702	6,844,989

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,014,613	2,024,063
資本剰余金	2,438,112	2,447,562
利益剰余金	14,282,735	14,721,473
自己株式	△10,520	△10,520
株主資本合計	18,724,942	19,182,579
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	393,463	517,457
土地再評価差額金	3,277,067	3,277,067
退職給付に係る調整累計額	△163,238	△146,199
その他の包括利益累計額合計	3,507,292	3,648,325
純資産合計	22,232,234	22,830,905
負債純資産合計	29,850,937	29,675,894

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	10,489,235	9,328,335
売上原価	4,853,487	4,587,491
売上総利益	5,635,747	4,740,844
販売費及び一般管理費	4,235,814	3,895,372
営業利益	1,399,933	845,471
営業外収益		
受取利息	2,783	5,048
受取配当金	16,007	19,900
受取家賃	24,915	24,606
その他	23,365	15,202
営業外収益合計	67,072	64,757
営業外費用		
支払利息	874	635
為替差損	8,221	14,456
支払手数料	16,874	13,046
その他	3,709	5,460
営業外費用合計	29,679	33,598
経常利益	1,437,326	876,630
特別利益		
固定資産売却益	30	577
移転補償金	—	190,000
特別利益合計	30	190,577
特別損失		
固定資産売却損	—	61
固定資産除却損	10,639	3,156
特別損失合計	10,639	3,218
税金等調整前四半期純利益	1,426,717	1,063,989
法人税、住民税及び事業税	390,272	223,504
法人税等調整額	37,361	119,374
法人税等合計	427,633	342,878
四半期純利益	999,084	721,110
親会社株主に帰属する四半期純利益	999,084	721,110



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	999,084	721,110
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	126,479	123,994
退職給付に係る調整額	△5,537	17,038
その他の包括利益合計	120,942	141,033
四半期包括利益	1,120,026	862,144
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,120,026	862,144
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,426,717	1,063,989
減価償却費	342,597	368,005
移転補償金	—	△190,000
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,194	△7
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△45,729	△241,170
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	6,488	△5,003
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	5,678	5,535
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△124,357	△136,553
受取利息及び受取配当金	△18,791	△24,948
支払利息	874	635
為替差損益 (△は益)	4,284	15,397
有形固定資産除売却損益 (△は益)	10,608	2,640
売上債権の増減額 (△は増加)	727,900	958,811
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△262,697	△468,380
仕入債務の増減額 (△は減少)	△81,923	△25,204
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△17,332	△51,979
その他	12,573	△53,773
小計	1,983,696	1,217,992
利息及び配当金の受取額	18,373	24,474
利息の支払額	△874	△635
移転補償金の受取額	—	90,000
法人税等の支払額	△321,537	△385,430
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,679,657	946,402
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	△321,690	1,199
有形固定資産の取得による支出	△191,262	△375,634
有形固定資産の売却による収入	70	—
無形固定資産の取得による支出	△64,134	△147,893
その他	13,833	△7,587
投資活動によるキャッシュ・フロー	△563,184	△529,916
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△269,583	△282,831
その他	△6,518	△6,763
財務活動によるキャッシュ・フロー	△276,101	△289,594
現金及び現金同等物に係る換算差額	△389	△3,196
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	839,981	123,694
現金及び現金同等物の期首残高	4,263,903	5,467,809
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,103,885	5,591,504

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定については、前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報において、補聴器販売店への来店者数の減少並びに医療機関や企業への営業活動の制約について、秋以降において復旧を想定している旨を記載しておりました。このうち、補聴器販売店への来店者数は順調に回復しているものの、医療機関や企業への営業活動はやや遅れて年度末に向け徐々に回復していくものと想定を変更しております。一方で、微粒子計測器については半導体関連業界における活発な設備投資動向に伴い、さらに好調な販売が今後も継続するものと見込んでおります。

繰延税金資産の回収可能性や減損損失の判定にあたっては、上記の前提に基づき会計上の見積りを行っておりますが、当該変更による影響はありません。

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	医療機器事業	環境機器事業	微粒子計測器 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への 売上高	6,483,934	1,977,551	2,027,748	10,489,235	—	10,489,235
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,483,934	1,977,551	2,027,748	10,489,235	—	10,489,235
セグメント利益	841,133	126,660	432,138	1,399,933	—	1,399,933

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	医療機器事業	環境機器事業	微粒子計測器 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への 売上高	5,147,895	1,699,193	2,481,246	9,328,335	—	9,328,335
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,147,895	1,699,193	2,481,246	9,328,335	—	9,328,335
セグメント利益	57,463	60,439	727,569	845,471	—	845,471

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

[関連情報]

製品及びサービスごとの情報

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位：千円)

	医療機器事業		環境機器事業	微粒子計測器事業	合計
	補聴器	医用検査機器	音響・振動計測器	微粒子計測器	
外部顧客への売上高	5,145,051	1,338,883	1,977,551	2,027,748	10,489,235

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位：千円)

	医療機器事業		環境機器事業	微粒子計測器事業	合計
	補聴器	医用検査機器	音響・振動計測器	微粒子計測器	
外部顧客への売上高	4,279,019	868,875	1,699,193	2,481,246	9,328,335